三和新報

THE SANWASHIMPO

10月15日（土曜日）

第447号（昭和29年6月17日第三種郵便物認可）

日刊（日曜・祝・祭日を除く）　購読料1カ月50円

発行所 三和新報社 平市田町 電話1053

裏地は甲商サベリ 特約店 丸進 平炭ぎんざ TEL 2165

四年ぶりに左右社復縁

松井代議士は中執委に

右と左に丸四カ年も分れていた社会党は十三日午後十時半から東京神田共立講堂で開かれた統一大会で合同を宣言、左社委員長だつた鈴木茂三郎氏が中央執行委員長の椅子に坐つた。

勢力は衆議院議員百五十九名で第一党の民主党より二十八名多く第二党に自由党より三十八名多く第二党にのし上つた。参院議員は六十九名で、自由党に次ぎ両院を合せると第二党となつた。

保守党をしのぐ第一党となつた。地元出で右社の統一対策委員長をやつていた松井政吉代議士は本部推薦で中央執行委員となつた。

地方民も関心寄せる

社会党の統一成る、い志常磐地方では磐炭労、常炭鉱の合同機運、来春の参議院選挙など当面の問題が山積している折柄、大きな関心を呼んでいる。以下は関係者や市民の街頭録音である。

磐炭労委員長　大河原一次

我々が望んでいたことで喜ばしい限りだ、大衆の与論にこたえ統一の上に立つた政策の実行に邁進したい、当面の問題として来春の参院選は候補者をしぼつて当確を期す、さらに必然的な問題であるが磐炭労、常炭鉱の地方組織労働組合の戦線統一にも大きな役割を果たすことを確信する。

平市々会議員　強口唯七郎

左右両社の統一は結構なことだよ保守対革新の二大政党の対立こそ議会政治の本然の在り方だ。そのうち民主党も自由党も合同するだろう。その時こそ国民の待望する政局安定への道だ。そのさきがけとしても喜ぶべきことだね。

常炭砿事務局長　小林峰一

両社の統一は国民待望のものであつた。これからは最終的な理想である政権樹立への突進あるのみだ。

吉河労組副組合長　栗島主税

我々が選挙のときに支持する政党は絶体ではない。最大公約数で投票するだけだ。社会党が左右合同したということはいろいろな意味で面白い現象だ。私は反対である今でも反対だ。いわば水と油の違いだ。考え方が両社内の左右端では全く違つている。西尾一派と松本一派の場合を考えても分る。このような油と水をこねまぜるなら自由党も労農党も入れたらよいだろう本質的結合ではなく多分に選挙策的合同である。しかし、実際問題として、選挙になればいやいやながらも投票することにはなろう。

常磐で市政をきく会

常磐市湯本公民館の婦人学級では二十日午後六時から同館日本間に市政を聞く会をひらく。出席議員

きょう、市制祝賀祭典

街に溢れた五万の人

今夕には解決の見通し

常磐、全山スト突入

去る四月二十九日三町二カ村を合併して市制を施行した勿来市では十五日から市制祝賀祭典を盛大に繰りひろげている。

気づかわれた夜来の雨も止んだ第一日目のきょう十五日はまず植田小講堂に大竹知事ら来賓およそ一千名が集り、古川式典委員長の式辞の後、合併功労者渡辺国之助（植田）高木武一郎（錦）蛭田三郎（山田）鈴木長治（川部）青天目信治郎（勿来）氏ら二百五十余名に感謝状が贈られ、来賓の祝辞につづいて祝賓にうつり、市制祝賀の挙賓のレクリがあつて将来の大発展を期する万才を高唱、盛会裡に散会した。

一方、街は二百名を越える豪華けんらんたる山田の奴行列、女武者を交えた武者行列、学童の旗行列がくり出され、近郷近在の人出およそ五万がひしめきマチは空前の賑わいをみせた。

なお二日目のあす十六日は各地区で市民体育祭や移動演芸が行われる。

生活給か能率給かで斗争中の常磐炭鉱では十四日午前八時から団体交渉を行つているが十五日正午現在、まだ接渉が続けられている。

一方、全山避炭場ストは十四日夜の労組戦術委員会で全山一斉ストにかえられ十五日一番方から全山ストに突入した。

会社側では今朝五時に掘進夫五九対四二、採炭夫五五対四五の比率とし、目標をこえた請負部分に対する魅力給を七五%から百%に増額提示した。組合側でも大体これをのんだもようで両者は大きく歩み寄つたようだがその他、補償額、査定委員会の問題などもう今夕中には解決するもようである。

11月23日から産業文化祭

石城市町村連絡協議会では、十四日平市役所で産業文化祭の開催期日を協議した結果、十一月二十三日（土）二十四（日）二十五（月）の三日間、平市で行うことに正式決定した。

なお会長には諸橋平市長がきまり近く副会長を決定。委員は会長一任できめ委員の中から実行委員を委嘱して具体案を練ることになつた。

柔道審査

磐城柔道会主催の柔道審査会は十六日午前九時から平工高体育館で開く。

剣道大会

常磐炭鉱湯本鉱支部主催の剣道大会は十八日午前九時から自治会館にひらく。

チャリンコ少年無札で捕まる

十五日午前二時卅八分平着常磐線上り列車内に無札で乗つていた少年を車掌がみつけ、鉄道公安官に引渡した。調べたところこの少年は駒木根定之助氏ほか四名。

青年対抗野球大会

平市青年連合協議会主催の第一回プロック別対抗野球大会は明十六日午前八時半から平工、市営両球場に十五チームが集つて熱戦を展開する。組合せは次の通り。

◇平工球場
草野A（不職勝）高久ー西部A
東部A一飯野。中央一五大。

◇市営球場
神谷一赤井。草野B一夏井。西部B一豊間。東部B一鉄北。

自転車ドロ

内郷市白水町川平無職山野武（三五）は去る七月四日ごろ同市白水町川平採炭夫山口悦好さん方から自転車一台五千円相当を寸借し詐取したほか同様手段で十一回にわたり自転車四台、オーバー靴など五万円相当の詐欺をはたらいていた廉で十五日内郷署から書類送検された。

文化祭打合

常磐市湯本公民館の文化祭打合会は十八日午後六時から同館にひらく。

片倉、職安、なご見学

常磐市湯本第二中学校（校長賀沢龍雄氏）三年生五十名は廿日社会科研究のため平市の片倉製糸、東北ガラス、職業安定所など見学。

愉しき人生

商売万能主義

考えていることはこれからの商売のことだけですよ。衣料品デパート鈴藤は廿七年十月新築開店、現在従業員五十名、衣料品の店としては綿布の小巾ものをやらないだけです。将来の総合デパートを夢見ているのですよ親爺は高久、私は田町の真中で生れ生粋の平っ子、学校は小学校だけ、いままでの一番苦い経験は、戦後かれこれ十年もすぎのどもと通れば熱さ忘れるというが、シベリヤの抑留生活だつた。満洲新京の第二航空本部の航空通信兵で終戦を迎え、バイカル湖畔のチレンホーボに二年間も抑留された。国に帰りたい美味いものが喰べたいという単純な考えばかりだつたが、この間の肉体的、精神的な苦労は将来いかなる試錬にも耐えられるという自分をつくりあげてくれた廿二年復員したが、ソ連では共産主義教育をうけ、帰国船上では早速自由主義教育をうめこめられ頭の切り換えのめまぐるしさにとまどいさせられた。一時兵隊前の職業だつた局の電信課に勤めたが、親爺がいまの藤三、四才の小さい子供のころから仕立屋の徒弟奉公に入つた。鍛えられたのでしょうね。すばしこくて機敏で、人の意表に出るという商人型でなく、どちらかと言うと純重な方でコツコツと努力するたちで人に慢みをうけることは嫌いな性分です。ニコニコ顔の福徳円満型、私はこれを継承して鈴藤の商法に筋金を入れている。その形は営業者も店員も一体となる融和性を強調〃明るい買い良い店〃をモツトーとしている「衣料品のデパート鈴藤」の名は親爺すなわち初代鈴木藤太郎からとつたものです。とにかく仕立屋の徒弟奉公した親爺は長年の間田町で呉服物の縫い方専門に自分の身を切り刻むようにして働らきしかも戦後に自宅を焼失し、再び立ちあがつた涙ぐましい苦労を思うと伸たるものはボンヤリしていられませんよ。仕事、仕事、これが私の全生命です。人生で仕事に専念するくらい楽しいことはないですよ。これからの営業をどうやるか。考えていると楽しい夢が、走馬燈のようにあとかあとからヒラめいてくる。商人は仕事以外に楽しさなんか絶体にありませんね。

× ×

語る人
衣料品デパート鈴藤専務
鈴木隆夫氏

お知らせ
飯田蛇笏先生歓迎俳句大会期日が先生の都合により左記の通り変更いたします
一、期日　十月十九日
一、場所　磐城高等学校講堂並びに図書館
一、時間　当日午前十一時から講演（入場無料）午後一時から句会（会費百円）
【註】講演は一般の方の御来聴を歓迎いたします
平婦人句会
磐陽句会

☆……婚礼着付・美容一般……☆
新鮮な感覚であなたの個性を生かす
マリー美容室
猪狩 平・五丁目沢

紳士既成服 オーバー 替ズボン ジャンバー 婦人服（地） 肌着・毛布
ROYOL特約 平指定商聯 鈴屋 大町TEL1788

板ガラス・鏡 陳列ケース
秋風と共に家屋のお手入れの時期が参りました。
◎自動車用窓ガラス◎家庭用窓ガラス◎陳列ケース
平市平和通り 会田硝子店 TEL.363

美術印刷 三章堂 6丁目電472

平市古鍛治町（県社下）
性病 皮膚病科 矢吹医院
電話二一九三番

自分で編んでもよいんです
藤越
毛糸婦人帽はニオンスの毛糸で編めます。藤越のステキな婦人帽をごらんになつて編んでみて下さい。お急ぎでしたなら、藤越帽子売場でどうぞ、おえらびの上、お求めになつて下さい
○毛糸婦人帽 二四〇円より
○カネボウ毛糸半ポンド九二〇円
○ラベンクーニオンス二二〇円
小名浜 平市

〃欧米みやげ話〃（中）

女に信用あるスイス人

参議院議員 木村守江

ウイーンからドイツに足をのばしリツセルト、ケルン、ボン、フランクフルト、ベルリン、ハンデブルグの六都市を訪問したが私はドイツで非常に恥かしい思いをした。それは出発が八月だつたので非常に暑いのでネヅミがかつた白い服を着ていこうとしたところ友人が「ヨーロツパは涼しいから黒の合着をきていけ」と注告されたがそんなに日本の気候と変らないと思い白服を着ていつたところドイツ人が「われわれの国で白い服を着るのは大金持かシヤレ男しかない」といわれ穴があつたら入りたい気持だつた。なるほどドイツ人の服装は実に質素で実用的にできている。汚れやすいものや薄い布地は絶対に買わないで厚くてゴワゴワしていくら洗濯しても切れないような布地ばかり、私たちを案内してくれた人は松本高校で八年間教師を務め現在ベルリン大学の日本語教授をしている人だつたがその人の服装がなんと二十年前につくつたような服だつた。この一例をみてもドイツ人の生活がいかに実用第一主義であるかがわかる。これと較べて日本人の流行を追う趣味は大変損なことだとつくづく考えさせられた。

そしてわれわれはライン河を上りながら旅行したが、どこの駅も戦災の跡が生々しく残つて少しも復興の色がみえないのでドイツ人にどうして人の集る駅がこうきたないんだと聞いたところ、そのドイツ人は〃旅行するのにはレールと列車が一番大切だ、ドイツの汽車には安心して乗られます。われわれは、まず一番必要なレールと列車を整備し、その後で駅を復興するのだから待合室のきたないのは、もう少し辛抱してくれ〃といつたその一言をみてもドイツ人は計画的というか合理性というか徹底した現実的な政策をとり全然ムダというものがないやり方をしている。

しかしドイツ人は戦争には負けた確かにアメリカやソ連に負けたのは事実だが、しかし民族的な優劣はどこの国にも負けない、ゲルマン民族は世界一の優秀な民族だという誇りをもつてドイチユランドか高らかに唱え少しも卑下した態度がない。戦後ともすれば卑屈になり必要以上に劣等感を抱いてしまつた日本人と較べてドイツ人の意欲には考えさせられることが多々あつた。

ドイツから農業のパラダイスといわれているデンマークに飛んだ。ここでは日本から農業技術を研究に来ている八人の青年と会い彼らといろいろ話をしたが、彼らは口を揃えてデンマーク人の働らくのに驚いていた、まつたくいつメシを喰つて、いつ寝るのかと思うほど一日中クルクル働いているそうで、このデンマークは世界で一番社会保障の発達している国で医者から休みなさいといわれると一日千四百円の日当が貰えることになつている。そこである青年に休みで金を貰えるとは結構な身分だといつたところ、その青年は〃遊んで金を貰つてもちつとも面白くない働いて金を貰つた方がどんなに嬉しいかわからない〃といつた。こういうようにデンマーク人は働くことの好きな民族で、これからみると日本人はまだ働きが足りないように思う。

常磐市の文化運動

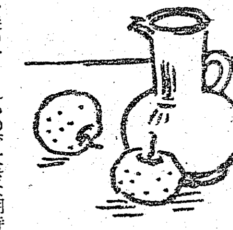
地味だが強力な青文協

活動にぶつた連合青年会

常磐市は他町村に比較すると文化運動が活発である。終戦直後ほどの華々しさはないが、地についたものが感じられる。現在最も頭角を現わしている青年文化協会は会員百五十人という小世帯であるが強力な団結ともりあがりをもつており特筆大書される。この団体は昨年五月五日、子供の日に誕生したものである。文芸、コーラス、旅、スクエア・ダンスなどさまざまな単位サークルがあつまつて結成したもので、県演劇コンクールなどにも参加し青年の実力を示した。その後単位サークルからの独立が叫ばれ、今年の五月ころ自立団体として分離し単独の運営を開始した。組織的に他からの制約を受けなくなつたため、スツキリした方針をたてあざやかな活動を展開しているが、現在行われている木村伊兵衛外遊展、ロバート・キヤパ日本印象展などはその好例であろう。文化協会の中には演劇、山岳、スクエア・ダンスの四部がありクラブ活動を盛んに行つているが、近く音楽、絵画の二部も新設されることになつている。この協会が行つてきたもののうちで特記される事業を数えると先ず公明選挙運動が挙げられる。次に衛生思想普及運動、演劇運動をはじめ個々のものをあげると枚挙にいとまがない。昨年行われたユネスコ協会の浮世絵複写展などは地味なものではあつたがその圧巻であろう。

文化協会の次にあげられものに連合青年会がある。これは文化協会と時を同じくして結成されたもので、会員千二百人を数えているが、文化協会にくらべると内容が貧弱であるばかりでなく、自立的な動きがみられないこれはよき指導者に恵まれないためであろう。個々の団体をみると終戦後雨後のタケノコのようにできた団体は既にカゲをひそめ、それにとつて変つたもののうちでは過去八年の間に幾多の屈折をみたが文芸サークルの「クララ」だけが未だに命脈を保つている。

その他レコード・コンサートを行つている「ジユピター」、コーラスの「夜明け」、旅の会の「途上」、カメラ愛好者たちの「シヤツテン・グルツペ」、「湯本短歌会」、「湯本俳句会」など多々あるが、すべて有名無実となり、現在ではかげろうのような存在になつている。（常磐市 津村ひろし）

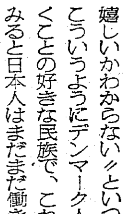


現代新聞批判

公正厳格たれ

常磐商工会議所専務 本田貢

私は新聞というものを社会の生きた教科書であると思つている。社会に対するいろいろさまざまな知識を開拓し、現実に対処する態度を養つてくれるので大きな期待を持つている。年に二回の休刊日があるが、新聞のこない朝というものは、毎日身近にいるべき筈の女房がいないときのようなうらさびしさを感ずるのだが私一人であろうか。それほど私は新聞というものの有難さを一入感じているので一党一派に偏したものはあまり感心しない。社会の教科書として学んでいる私は、新聞の厳正中立をのぞんでいる。資本主義社会機構の中では避けられない運命なのかもしれないが中道をはづれたものでは、ただそれだけで既に教育性を失つてしまうのではないかと考えるのだが、ヒガ目だろうか。私は新聞というものは、ありのままをありのままに報道し極力我田引水的な傾向を排除してゆくものではないかと確信している。世論をハツキリつかみ、権力や金力の制肘をうけず、毅然とした態度で真実を知らせるところに新聞の使命があり、そこではじめて読者もまた、それを正しく受取り正しい態度で反応してゆくことができるのではないのか。重ねて私は公正厳格なる在り方をのぞみたい。



オールないよ

○…内郷市公民館主事の赤土さん図書館の職員たちが休んだので一日図書係員をつとめたがさてどうして貸出してやつたらよいかさつぱりわからずあの本この本とせがまれてすつかり萬才し「ありません」の連発。これにはえつらん者たちも「おやおや今日はなんにもない」なんて口あんぐり。

タバコと女房

○…常磐市商工会議所の職員たちはこのほどみんなで煙草をやめたところが一人のほほんと御自分ばかり吸つていられなくなつた本田専務さんまで禁煙することになつたがパールという新煙草の味をみてからというので職員をあつめて慎重審議したところ「よかんべ」ということになつたそうだがこれが最後だと思つたら涙が出て女房と別れるような気がしたんだという。

今晩のラジオ

◎NHK第一放送

六・〇〇＝子供のシンフン オペラ
六・四五＝夕べのいこい
七・三〇＝映画活弁二十の扉
八・〇〇＝なつかしのメロデー
八・三〇＝とんち教室
九・一五＝劇「おけらの歌」
九・四〇＝時の動き
一〇・四〇＝幸福を拾つた話「一人息子の巻」

◎ラジオ福島

六・〇五＝空の向うに何がある
六・一五＝今週の話題
六・四〇＝世界民謡めぐり
七・一五＝花巻アワー
七・三〇＝青春ワンダフルおばあちやん
八・〇〇＝立体浪曲
八・三〇＝常磐アワー
九・〇〇＝福助クイズ歌の二人三脚
九・三〇＝歌謡漫談
一〇・〇五＝名作アルバム
一〇・二五＝夜の希望音楽会
一一・〇五＝浪曲名調アルバム

今晩の映画（十五日）

☆聚楽館 歴史は夜作られる 蝶々夫人 （六、三五）
☆世界館（十八日まで）女の学校 お父さんはお人よし（七、〇〇）
☆平館 銀座二十四帳 燃ゆる限り （六、三〇）
☆ひかり座（十七日まで）野女ヤスカラ 豪族の砦 （六、一五）
☆東映 力斗空手打ち 飛龍無双 （七、一五）
☆民劇（十九日まで）第二の機会 モガンボ （六、五六）
☆緑映劇（十八日まで）振袖剣法 月夜の傘 （七、三五）
☆第二いわき（十八日まで）トコリの橋 暴力街 （六、五〇）
☆うえだ館（十五日まで）青空の仲間 モガンボ （六、三〇）
☆菊多劇場（十五日まで）愛の一家 獄門帳 （六、三〇）

①映画題名は上映順 ②上映時間は夜の部

ミシンはハツピイ 縫の小山で

祖国印 地下足袋 運動靴 長靴 袋屋本店

パンは開花亭 平市五丁目 電三四二

銘菓 平餅

平餅販賣取扱店
常磐市…市役所入口…要屋
勿来市…駅 前…安島商店
平 市…駅 前…佐原屋
植田町…駅 前…永山商店

御菓子司 松月堂 平市銀座 街電206

十月二十三日 平市公會堂
第三回 平をどり
（昼の部）十一時 廓の三段目 お軽勘平 奴戻り橋 新作浮世絵灯籠 七景
（夜の部）四時 津山の月 お夏狂乱 鏡獅子 新作浮世絵灯籠 七景
平料芸組合
後援 平市 平商工會議所

行樂の秋
旅行は…… スガタの…… 優美な靴で……
学生靴 紳士靴 婦人靴 子供靴
最新のデザインで 迅速丁寧に御調整いたします
スガタ靴メーカー
本店 平市銀座 電1104
支店 平市二丁目 電2059

祝 勿来市制施行
悠久史上に残る祝典をお喜び申上げます 館主
十五日 開館 午前十時
モガンボ
青空の仲間
キヤスト エバアガードナー クラークゲーブル グレイスケリー 伊藤雄之助 三橋達也 新珠三千代 南寿美子
十六日
獣人雪男
踊り子行状記
宝田朗 根岸明美 河内桃子 中村伸郎 市川雷蔵 長谷川裕見子 山本富士子 江島みどり
十五・十六日 ナイトショー 警察日記
御期待下さい
うえだ館